

「経験、体感、真の学力！」 ～5年生 算数「体積」～

○5月14日

授業時間に5年生が何やら集まっています。



楽しそうな様子を見ていると、どうやら箱のようなスペースに何人入れるか挑戦しているようでした。

これは算数の体積の学習。1mのものさしを12本組み合わせて1mの立方体を作りました。

実際に作ることも素晴らしいし、「何人ぐらい入れる？」という動機付けが楽しいです。

新学習指導要領で言う所の「主体的な学び」がしっかりと行われています。

また、これは体験的な学習となっています。少し前に大学生の学力剥落（小中学校の学習内容を忘れ、簡単なことができなくなってしまうことです）が問題となりました。＜机上だけで学ぶ、目的なく学ぶ、使わない・使えないことを学ぶ＞等の学習は、受験を終えたら忘れ去られるということでした。

一方、小学校においても、「数は数えられる」、「計算もできる」、けれどもくその数がどのような大きさなのかわからない」という子が時折います。



数を形式的に捉え、量や大きさとしては捉えていないのです。1年生の算数はブロックを使います。これは数に量感を持たせるためです。しかしその後は特に決められた教材があるわけではありません。

今回の5年生のように教材や指導に工夫が必要なのです。＜経験し、体感する。＞こうして剥がれ落ちることのない、使える力を身に付けさせていきたいです。

算数だけではなく、様々な学習で、体験、体感、そして実感させる活動を大切にしていきたいと考えます。